たくということが、何よりも重要」と柳衛さん。加えて、「我々が深層で思っていることと、普段思っていることは違う。例えば

お金持ちになりたいとか、極楽浄土に向かって歩んでいきたい、皆様とともに。そういうものが我々の心の奥底にある。その本当の願いというものを呼び醒ましてくれるものこそが、南無阿弥陀仏の御名号である」と説いた。

のコラボパンを配布する。

問い合わせは、三条別院（TEL0256・33・0007）へ。

（山口）

購読料一カ月一、〇八〇円

焦らずあきらめない、10年で芸人復帰

漫才コンビ・松本ハウス招き精神保健福祉フォーラム

統合失調症と付き合いながら活動する笑い芸人・ハウス加賀谷さんと、松本キックさんの漫才コンビ「松本ハウス」を講師に招いた講演会「統合失調症がやってきた」が二十一日、燕三条地場産センター・リサーチコアで開かれた。加賀谷さんは芸人としての絶頂期から入院、十年ぶりの芸人復帰を振り返って「焦らないで、心は決してあきらめないことが大切と思いました」と話した。

体調を崩した加賀谷さんとの距離感に気を配りながら、十年後の復帰に応えた松本さんは「支援者という気持ちは少なくて、加賀谷に助けられている部分もある」と言い、復帰後の芸人・ハウス加賀谷を「切れ味は鈍ったかもしれないが、鈍った部分も持ち味に芸の幅は広がった」と評価した。

講演会は、社会福祉法人青空福祉会（金子謙一理事長）が精神障害を知ってもらい、理解を深めてもらおうと主催している第十回精神保健福祉フォーラム～障がいを理解し、地域で共に歩もう～で、約二百五十人が集まった。

松本ハウスは、一九九〇年代後半、テレビ番組「タモリのボキャブラ天国」などへの出演で売れっ子となったが、加賀谷さんの症状悪化により一九九九年に活動を休止。二〇〇九年、十年ぶりに復活した後は、お笑い芸人としての活動のかたわら、講演活動も行っている。

加賀谷さんは「やっと自分で探して見つけたお笑い芸人という場所から、離れる入院は避けたかった」が、母親の粘り強い勧めや、松本さんの「五年後でも、十年後でも芸人をやりたいなら、また一緒にやろう」という言葉に送り出されて精神科病院の急性期病棟へ入院して七カ月を過ごし、デイケアなども利用しながら治療にあたった。

「いつかはお笑い芸人に戻りたい」を目標に、コミュニケーション能力を養うため喫茶店のアルバイトをこなすなどして丸十年で復帰を決意。松本さんは「お笑いで症状が悪化した。また悪化したら責任はとれないとも思ったが、何かあったらその時考えよう、相談しようと」と、おおらかな気持ちで受け入れた。

一方の加賀谷さんも、『加賀谷、タモリ、たけし』と思うくらい、芸人加賀谷が自分の中で巨大化していたが、何もできない」と目標としていた芸人復帰を果たした後にも葛藤があったが、「芸人で活躍していた時期、入院して休んだ時期、芸人復帰。復帰は活躍していた時期に戻るのでなく、人生の新しい章が始まったとやっと思えるようになった」。

講演は加賀谷さんの言葉を、松本さんが誰にも分かりやすいようまとめる形式で、会場からは「具合が悪くなった時にどうしていますか」、「松本さんは加賀谷さんにどう接していますか」など加賀谷さんに共感を覚え、具体的な対策を問う質問が多く出ていた。

（外山）

講師 松本ハウス 松本キック

講師 松本ハウス ハウス加賀谷

銀賞2

統合失調症と付き合いながら活動する笑い芸人・ハウス加賀谷さんと、松本キックさんの漫才コンビ

「花火」と五十嵐さんの選評。

銀賞1の「競い咲く」も花火の写真で「多重撮影が上手く完成度の高い作品。襞血の光跡が画面構成にアクセントを与えており面白い」、銀賞2の「真夏の踊り」は民謡踊り流しの写真で、「男性が民謡踊りを独り占めしているかのように見える構図作りが良かった、両手を大きく開いた瞬間を捉えたことで画面に迫力が感じられる」と、それぞれ選評が寄せられた。

銅賞は、西大崎一、吉澤園恵さん「花火二重奏」、田上町田上、手島岱月さん「目に飛び込む流し女」、曲渕二、田中雅樹さん「未来の上げ師」、東京都江東区、中江佑介さん「さあー出発」、曲渕二、山本洋子さん「えんがわで花火」の五作品で、ファミリー賞には十作品が選ばれた。

入賞作品は十月一日（火）から三十日（水）まで三条市役所、十一月二十二日（金）から二十四日（日）まで三条市中央公民館で展示される。

（外山）

お食事処・ラーメン
きくら
南四日町4-7-50 ☎35-7034

カクテル専門店で特別なひと…
ゴルフコンペ・女子会・歓送迎い
懇親会・合コンなど各種飲み会に☆
カクテル40種飲み放題
¥3,000円～
毎月第4火曜日は生バンド
女性ボーカルあり！
居心地のよさ ショットバー
モンクア
☎32-3042
http://sanjo-monqa.jp